



碧南ロータリークラブ週報

第2520回例会 平成22年10月13日(水)

● 会長 奥田 雪雄 ● 幹事 新美 宗和 ● 会場監督 (SAA) 伊藤 正幸

2010-2011年度 国際ロータリーのテーマ

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
 ■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
 E-mail: info@hekinan-rc.jp



地域を育み、大陸をつなぐ

■ 会報委員 新美雅浩・鈴木健三・西脇博正・菅原 優

● 齊 唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

地区RYLA委員会 副委員長 谷山芳和様 (豊田西RC)
 西三河分区I.M実行委員長 田中正規様 (西尾RC)
 西三河分区I.M実行副委員長 鳥山欽示様 (西尾RC)



谷山芳和副委員長



鳥山欽示副委員長 田中正規委員長

会 長 挨拶

本日は「愛のメッセンジャー」というお話を。

10月の連休、京都に行ってきました。「みずゑ会」という踊りの会に。とても楽しい時を過ごさせていただきました。

翌日10月11日、朝刊がドアの隙間からチョココンと顔をだしていました。朝日新聞でした。子供ならではのユニークな発言を紹介するコラム「あのね」は今年、10周年を迎えましたと。

それをみていると、とてもやさしい、あたたかい気持ちになり、つい微笑んでしまいました。こんなのは私は大好きです。紹介することにしました。

「熱があるのでお風呂に入れないよ」というと、「でも、お風呂でヨーク洗ったら、お熱がとれるんじゃない？」(2000年10月6日掲載)。

ふかふかと浮かんでいる雲が、よく見ると細くつながっていた。「雲もお手てつなぎたいんだね」(岡山市 金澤玲美、3歳)。

ママの口の中をのぞいていたら、銀色の歯があった。「お母さんお星さま食べちゃったの！」(大阪府茨木市、田中優月、2歳)。

10月生まれの息子が、テレビで「今年は秋がない」と言うのを聞いた。「エ！僕の誕生日も今年はないの!？」(仙台市 早川優人、9歳)。

もう1つ、私の家族での話です。「ワンワンにご飯あげるね」と言うと2歳7カ月になる孫が「ワンワンじゃないでしょ。ショコラでしょ。」我が家の犬の名は「ショコラ」です。

皆さんの御家族ではいかがでしょうか。いろんな愛くるしい出会いが、日々の生活の中でみつけることができるんじゃないでしょうか。



奥田雪雄会長

これは一つ一つが尊い愛の贈り物ではないでしょうか。とても豊かな気持ちになります。愛は分かち合えるものです。生まれたばかりの赤ちゃんは美しい愛の象徴です。子供が放つ光は、「愛」そのものといえましょう。その光こそ「愛のメッセンジャー」ではないでしょうか。日本の将来をになう子供たちの成長をねがっております。

私ども大人の世界でも、ロータリーでも「思いやり」のこころを大切に、多くの異業種の方々、あるいは同業種の方々とも愛は分かち合うことができるとおもいます。より多くの、一人でも多くのロータリアンが生まれることを、出会えることを、心より願っております。

幹 事 報 告

- お手元の幹事報告の通りです。
- 本日第一回の指名委員会を開催しました。



新美宗和幹事

委 員 会 報 告

〈出席奨励委員会〉

総会員数73名(内出席免除者15名の内出席者10名)出席者60名

出席対象者 60/67名	出席率 89.55%
--------------	------------

欠席者13名(病欠者1名)	前々回修正出席率 97.01%
---------------	-----------------

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

地区RYLA委員会副委員長

谷山芳和様より、卓話のお礼のご寄付も含め大変たくさん頂きました。

西三河分区I.M実行委員長 田中正規様、副委員長 鳥山欽示様

来年2月12日に西尾クラブがホストとして、I.M(インターシティーミーティング)を開催します。本日は、そのPRに伺いました。

加藤 良邦君 10月は米山月間です。お世話になります。又、米山特別寄附をお願いしました7名の方々に深く感謝致します。

会報の菅原さんには大変ご迷惑をお掛けしました。有難う御座いました。

杉浦 求君 おかげ様で無事に定年になりました。

倉内 裕君 良い事がありました。

奥田 雪雄君 } 地区RYLA委員会副委員長の谷山様のご来訪を歓迎致します。
新美 宗和君 }

竹中 誠君 チャリティーバザー品、ご協力有難うございます。次回は10月27日(水)です。お忘れの方はよろしくご協力お願いします。

岡本 明弘君 良い事がありました。完結しました。

角谷 修君 本日の講師の地区RYLA委員会副委員長の谷山芳和様をご紹介します。

卓 話

「青少年健全育成におけるRYLAセミナー」

国際ロータリー第2760地区 地区RYLA委員会 副委員長 谷山 芳和

当クラブで大切な例会の時間を地区RYLA委員会にお与えいただき、当クラブの方々に厚く御礼申し上げます。

本日犬束委員長が貴クラブを訪問して卓話をしなくてはなりません、所要の為、急遽大変申し訳ありませんが地区RYLA委員会副委員長を勧めさせていただいております。



谷山芳和副委員長

豊田西ロータリークラブ所属の谷山芳和が代理にて、ご容赦を賜りたくお願い申し上げます。委員長より卓話の演題は「青少年健全育成における RYLA セミナー」で行うようにとの指示が御座いましたが当方で代理が務まるか心配をいたしておりますが精一杯お伝えしようと努力いたしますのでご容赦をお願い申し上げます。

本年4月25日のRI諮問委員会のおきまして、奉仕の第五部門に認識されました、新世代奉仕は指導力養成活動（RYLA）社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加（IA/RA）世界平和と異文化の理解を深め育む交換プロジェクト（青少年交換）が規定審議会において4大奉仕に付け加えられたことにより、地区においても田嶋ガバナーにより本年度については新世代委員会が無くなり新世代委員会の小委員会が独立した各委員会になりました。

ロータリーには、大きく分けると2つの奉仕部門に分けることができます。

1つは飢餓、貧困への救済、環境問題、もう1つが、青少年健全育成事業であります。この青少年健全育成事業を担当する委員会が本年度当地区ではIA/RA/RYLA/青少年交換の4つに分割されました。

ご承知のように、国際ロータリーの奉仕事業のほとんどが新世代向けの奉仕活動であります。IAC活動、RAC活動、RYLA活動、青少年交換活動、米山奨学、財団奨学は、ほとんどが青少年達の健全育成事業であります。

ロータリー財団が最も努力を進める、ポリオプラス、識字率、水問題、井戸掘削事業、WCSの現地学校建設等、特に近年国際ロータリーは、青少年健全育成支援プログラムに主力を傾けていると良いほどであります。すべての青少年育成事業は、その成果の現れは将来的で事業結果も不透明であり、けっして数値で図ることのできない、未確認が存在する事業であることは現実です。

新世代事業プログラムが、ロータリーの奉仕の精神に基づき、貴重なクラブ会員の浄財を使い、自らの委員活動に、いかほど心血を注いでも、速やかにその成果を識別し、追求することは困難である現実を承知した、未来へ向けて成果を託す青少年健全育成事業である限り当然の理念であり摂理です。

また、その委員会事業プログラムの恩恵を受けた、青少年達が、果たして将来どう成長していくのかも予測できないものであり、そして、その恩恵がどのように青少年達の将来に生かされていったのかどのような影響を与えたのかも現実的に、数値で図り知る余地もありません。

将来、成長した彼等の姿に接し、ロータリー自らが、何を感じ、何を思うか、自己判断の現実が存在するのみであり、その全ての、如何なる判断結果もロータリー自身が享受し、将来の奉仕事業の糧とすべきものであります。

ロータリーの奉仕の精神は、崇高なもので、その事業結果の不透明さの現実や、計り知れない未知なる数値の壁に、絶望することなく、自らの奉仕の理念実践することに何の戸惑いもなく、決して挫折をしたり、放棄をする理念は存在しません。

国際ロータリーの青少年育成事業の現実の在り方と、理念であります。

われわれの奉仕理念とは、ロータリーの青少年健全育成プログラムを通して、将来の未知なる若者たちに、貴重な浄財を使ってでも、ロータリアン自らが奉仕の汗をかいてでも、青少年達に、将来の社会生活において、よき社会人となり、よき社会の指導者となり、よく地域文化の伝承を継承し地域に貢献する人材の育成を願う理念であり、同時に、倫理観の高い人格者としてロータリーの奉仕の精神を継承し、各分野での奉仕のリーダーへと成長することを願い、期待を託し、その実現に向けて、ロータリーの心血を注ぐ奉仕の実践の姿であり、行動する勇気と実行力の理念であります。

青少年保護に携わる方が申された青少年の現状としては、第一に「罪悪感の欠如と被害者意識」である。罪悪感なく非行に走っており、注意されると逆に注意してくれた社会人を非難するといった被害者意識を持つ青少年。第二に「他律性」である。子どもたちは苦しみながら悩み、自ら問題を克服するという機会、プロセスがなくなっており、規範意識が内在化されていないために、いけないことにノーと言う自信がない。したがって、簡単に他の人に引きずられてしまう傾向もあります。第三に「感情を言語化し、表現する力」が弱まっているという印象がある。他人とのコミュニケーションが不得手なゆえに問題行動や非行という形でイライラや不安を表現している面もある。

家庭に関する問題としては、第一に「希薄な関係」である。子どもが「楽しいとか、しかられたという経験がない」「親が自分の方を向いてくれないから」という問題。

第二に「親の規範意識の欠如」である。例えば、親が「何でこんなことで注意されないといけないのか」と注意した人に詰め寄ることもある。第三に「親自身に自信がない」ことである。子どもに対して、これがいけないことだという確固たる自信が親になくなっている。地域社会及び学校の問題としては、それぞれ、「社会の無関心の広がり」、「学校外に無関心」ということが見受けられる現在社会においてこのような状況下でも当クラブでは青少年健全育成に寄与している諸団体への助成・ロータリー旗争奪少年野球大会・少年野球教室開催などにご尽力されてる事は、上記に記載しました青少年の現状問題に貴クラブの情熱と絶え間ない指導努力の賜物であります。

長期間、青少年健全育成を推進していただいておりますことに敬意と感謝を申し上げますと共にさらに継続をお願い申し上げます。

そこに我々ロータリーが少し手を貸して青少年を理解する行動が彼らに希望を与えることができるのではと考えています。

地区RYLA委員会の事業には3つの事業があります。

1. RYLAセミナー

Rotary Youth Leadership Awards

ロータリー・ユース・リーダーシップ・アワードの略語です。

日本ではロータリー青少年指導者養成プログラムと解釈しております。

年齢は14歳～30歳の若者を対象に、スキルと人格を養いながら、奉仕・道徳的基準平和といった、ロータリーの価値観を学ぶ機会を提供するプログラムです。

この事業の主管は当該年度のガバナーで主催はRYLA委員会であります。現在当地区は1泊2日にて開催いたしております。

地域社会の若者がRYLAを通じてリーダーや良き市民としての資質を養い人間として成長するのを援助します。

プログラムの目的は

①ロータリアンが青少年を尊重し青少年に関心を抱いていることを知ってもらう。

②青少年にボランティアのリーダーになれるように気づかせサポートをする

セミナーの参加者対象者は18歳～30歳でロータリーとかかわりの無い地域の青少年達とインターアクトクラブ会員、ローターアクトクラブ会員、青少年交換学生であります。

※この事業はガバナー主管事業のために、各分区の輪番で、その担当年度の分区よりホストクラブが委嘱されます。委嘱されましたホストクラブは、会場確保・会場設営・宿泊・飲食等の提供・安全確保・衛生管理等を主体に担当していただきます。

セミナーの養成指導・進行内容等に付きましては、地区RYLA委員会にて思考いたします。

本年は愛知県青年の家（岡崎市）にて平成23年2月26-27日に開催

2. 国際RYLA派遣事業

毎年6月に開催されます、ロータリー国際年次大会の前に開催されます国際RYLAへの参加資格が与えられます。予定では国際RYLAは2011年5月19日～21日開催
派遣生にはロータリー国際年次大会に出席義務があります。

3. RYLA顕彰事業

RYLAセミナー目的の1つでもあります。

地域で顕著な活躍している青少年とグループを公に表彰することを事業として行っておりま
すと共に各項目で地区内クラブのご協力をお願いしております。

次回例会案内 平成22年10月27日(水)
「美術館・企画展のしくみ」
碧南市藤井達吉現代美術館 館長 木本文平氏